

よ さ の

水・緑・空  
笑顔かがやく ふれあいのまち



第20号

2011年

5月25日発行

# 議会だより

Yosano Town Council



## 主な記事

- 東日本大震災にかかる声明 …… 2P
- 平成23年度一般会計当所予算 …… 4P
- ここが聞きたい(一般質問) …… 16P
- 国に意見書 …… 28P

# 東日本大震災の被災者の皆さんに 心よりお見舞い申し上げます

## 東日本大震災にかかる緊急声明

去る3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、国内史上最大規模のマグニチュード9.0、最大震度7を記録する地震となり、その後に襲来した大津波は、東北地方へ凶暴な牙をむき、日本全国へ広がっていきました。

このたびの地震は、東北、関東地方の広範囲で甚大な被害をもたらす未曾有の大災害となり、地震による家屋の損壊はもとより、その後に発生した想定を超えた大津波により、多くの尊い生命と財産を一瞬にのみこみ、町ごと流されるなど、その実態の掌握も困難なところもあり、未だ安否が確認できない方々が多数おられます。

また、福島県内の原子力発電所が被害を受けて、放射性物質が漏洩するなど、今もなお予断を許さない状態が続き、周辺地域の住民は大規模避難や屋内待避などを余儀なくされており、深い悲しみの上に先の見えない焦燥感がつのっているものと推察します。さらに、農業や工業をはじめとする様々な産業にも波及し、国民生活に多大な影響をもたらす事態となっています。

私たちの地方でも、84年前に発生した北丹後地震により大きな被害を受けていますが、その当時のことを記憶しておられる方々も年々少なくなる中で、私たちは、その教訓を災害への備えに生かすことが大切であると思っています。

与謝野町議会は、ここに犠牲となられた方々とその遺族に対しまして、全町民とともに深く哀悼の意を表しますとともに、負傷された皆様をはじめ、被害に遭われ不自由な避難生活を余儀なくされている被災者の皆様に、心からお見舞い申し上げます。

また、行方不明の方々の一日も早い所在確認を願ってやみません。

そして、今こそ日本中が一つになり、国民一人ひとりが支援や協力をし、お互いに支え合っ  
て被災された皆様が、一刻も早く安全で安心できる元の生活に戻れますことと、被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

平成23年3月29日

京都府与謝野町議会

**議会として義援金30万円を送りました**

**支援と復興にご協力をお願いします。**

# 東日本大震災・議員街頭募金に 45万 3985 円の義援金



最大級の東北地震、津波災害

去る3月22日、町内4ヶ所（ショッピングセンターウイル、にしがき四辻店・石川店、フクヤ男山店）で、議員による街頭募金活動を各店舗のご協力を得て行いましたところ、多数の方々から多額の募金(45万3985円)を頂きました。皆様方から頂いた募金は、日本赤十字社へと送金し、被災地の復興支援に役立てて頂けるものと思えます。

このたびの皆様方の温かいご協力、誠にありがとうございました。

復興には長い時間がかかるものと予測されますが、引き続き被災地へ温かいご支援の眼差しを向けて頂きますようお願い申し上げます。



●にしがき・四辻店



●ショッピングセンターウイル



●フクヤ・男山店

ご協力いただいたお店

街頭募金活動

ご協力誠にありがとうございました！



●にしがき・石川店



●にしがき・石川店

# あらためて わが町の防災を問う

**問** 第一次総合計画の実  
施計画において「災害に  
強い安心・安全なまち」  
づくり施策として、地域  
の自主防災組織の育成な  
ど防災体制の強化が示さ  
れているが、今回の東北  
関東大震災の教訓から多  
くの問題点が浮き彫りに  
なった。緊急情報伝達手  
段、要援護者対策、津波  
時の避難場所の指定など  
大きくクローズアップさ  
れ、加えて原子力発電所

問題が発生した。特に海  
に面し近くに高浜原発を  
ひかえている岩渾地区に  
おいては、今後に大きな  
不安と危機感を抱いている。  
防災計画の見直し、防  
災対策の充実強化は喫緊  
の課題と思うが。

**町長** 防災計画のきめ細  
かな対応の中で、要援護  
者に対する支援・援護は、  
地域差があるので、先進  
地域の取り組みをモデル  
に全地域に広げる努力が

## 防災計画の見直しを

糸井 満雄



洪水マップ

## 瞬時警報システムを

**問** 全国瞬時警報システ  
ムの導入は、図られるの  
か。

**総務課長** 現在整備中で  
あり、平成22年度中（平  
成23年3月末）に設備が  
完成する予定である。

必要。津波に関しては、  
緊急時における伝達方法  
などあまい部分があった  
と反省している。避難場  
所の設置は、関係機関の  
指導を得ながら一定の方  
向性を出す必要がある。  
なお、原発問題が大き  
な恐怖となっており、今  
後は、これらも視野に入  
れ、防災計画を見直し、  
早急に危機管理体制の強  
化に努めたい。

## 問われる緊急告知放送

家城 功

**問** 町民の情報の共有は  
大切なこと。利用者への  
配慮も必要では。

**参事兼企画財政課長** 今  
後の検討課題とする。

## 防災協定が必要

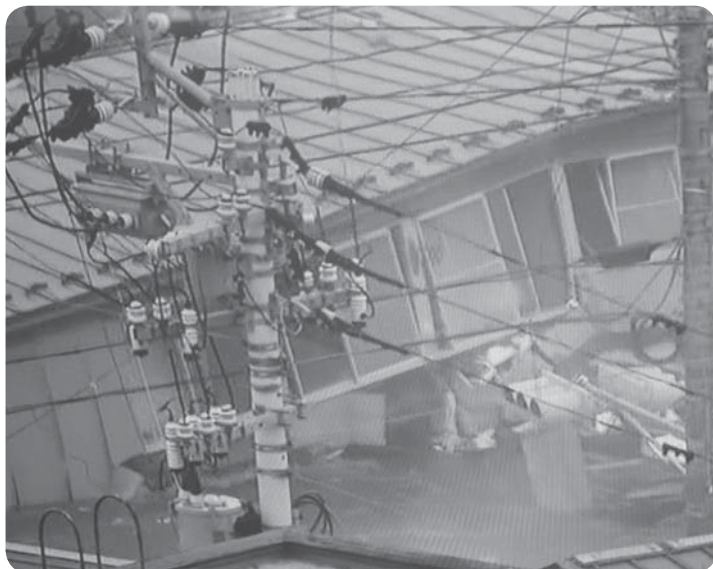
杉上 忠義

**問** 緊急災害時のライフ  
ラインを先ず確保するた  
めに、建設業界（土木・  
水道・電気工事など）と  
の防災協定が重要だが。

**総務課長** できるだけ早  
い協定の検討をする。



今後のエネルギーどう考える（関西電力宮津エネルギー研究所）



地震・津波災害（TVニュースより）



緊急時どう避難する（TVニュースより）



まもれるか当町の海岸（岩滝の町並み）

## 防災計画・防災会議

塩見 晋

**問** 当町の計画は「災害対策基本法第42条の規定に基づき毎年検討を加え、必要あると認めるときはこれを修正する」となっているが、今年度も防災会議が開催されていない。**総務課長** 指摘のとおりであるが、23年度は開催

をする。**町長** 今回の東日本大震災を受け、防災計画を審議する防災会議は大事であると再認識をしている。**問** 各家庭に配布された「防災のしおり」の避難所や避難地は、指定され

た施設の全てが掲載され

ているか。**総務課長** 指定場所の変更はありうる。**建設課長** 20年度に地震防災マップを作り、避難所を設けているので照合をしたい。

**問** 世界でも超大型震災と大津波で、二重三重に「安全」と言ってきた原発が爆発し、甚大な被害が出た。福井県に原発があり、本町も対応がいると思うが。**総務課長** 防災計画の見直しが必要と思う。

伊藤 幸男

防災計画の見直しを

**問** 東北地方大震災によって日本海に面する当地方にも津波注意報が発せられた。3月13日は防災訓練があったが、もし10mの津波が来たらどこまで被害があるのか、ということも話題となった。避難場所の設定だけでなく、学校・地域公民館などに海抜何mの標識を立て、私たちも地理地形

を把握しておくことが大事だと思う。

また当地方に、かつて津波の被害の言い伝えや文献など残っているのかどうか。

**総務課長** 今後関係機関とも協議し進めていく。**教育長** 調査をする。

# 改築はじまる

## 設計委託費に2,600万円

### 中学校施設整備事業

多田 正成

**問** 加悦中基本設計委託料2600万円計上。合併し施設の統廃合など経費削減、少子化による適正規模適正配置の観点から考える必要があるのでは。

**教育長** 耐震校舎の耐力度審査基準を大きく下回った。改築の準備をする。

**問** 現在加悦中219人、江中で378人、橋中で309人。

10年後は、加悦中151人、江中226人、橋中221人となる。

加悦中、江中合わせて377人で、現在の江中と同じ生徒数。将来の財政、少子化を考え、どうせ建てるなら、もっと大局からまちづくりを示し町民に議論して頂くべきではないか。

**教育長** 財源、少子化など大局のまちづくりは町長部局の考えること。よりよい教育を推進する。

### 加悦中学校全面改築へ

杉上 忠義

**問** 国は公立小中学校の耐震化工事を早めるため国庫補助を3分の2にするとしているが。

**教育長** 建設検討委員会を立ち上げ、可及的すみやかに着手する。



木材焼却炉（奥滝）

**問** 温暖化防止計画の策定は、重要な取り組みだが、なぜコンサルタントに委託する必要があるのか。

**住民環境課** 環境協議会での議論でつくるが、コンサルに委託するかどうかは、協議の状況によって考える。

### 町全体での温暖化対策

野村 生八

**溶融炉は温暖化を促進**

**問** 何でも燃やせる灰溶融炉は、温暖化を促進するので見直している。生ゴミの肥料化など、燃やさない取り組みが必要。

**住民環境課長** ゴミ焼却炉建設は、協議が完了しなかった。

早急に再検討する。



加悦中学校（校舎）

# 加悦中学校全面



## 加悦学童保育施設整備



加悦学童保育

谷口 忠弘

**問** 共働きの世帯に大変喜ばれている。小学校低学年は、人間形成の中

でも大切な時期、保育の充実が大事と思うが、

**教育長** 学校との連携を図るべき。また、質を高めることは大事。

**問** 保育の充実と共に7力所ある施設のなか、加悦学童施設の老朽化が進み、安全上問題があると思うが。

**福祉課長** 古い建物で、今後の課題と思う。

保育料を下げるには

**問** 定員885人に対し現在538人だが、施設数が多いため、どうしても人件費がかかってしま

うが。

**福祉課長** 入所率が約60%、全保育所が定員割れで運営効率は悪い。

**問** 統廃合が必要では。  
**町長** 検討課題だ。

## 屋根の雪下ろしに補助

有吉 正

**問** 屋根の雪下ろしは危険が伴う。シルバー人材センターも雪すかしだけ受けておられる。業者に頼み補助金を出している町もある。

**町長** 行政で、どこまでできるか検討する。

## ゴミ出し困難

多田 正成

**問** 独居老人の方でゴミ出しが困難な場合、シルバー人材センターに依頼されている。当然有料で経済的に大変では。行政はどう考えているのか。  
**住民環境課長** そついった支援については、取りあえず行政へ相談をしてほしい。



ゴミ処理施設（京丹後市）

# よさの町に続く 地域活性化に期待



## 企業立地推進を

杉上 忠義

**問** 28万円の予算額は少なすぎる。大震災との闘いは始まったばかり。

企業も生産性を重視した集中企業立地から「地域分散」を図ることが求められている。本町の「産業立地」政策は。

**商工観光課長** 府とよく協調して取り組んでいく。

## 産業振興会議に期待

谷口 忠弘

**問** ウイルを作った時にいろんな経験をした。真のリーダーシップとリスクを分担する仲間が必要。

行動計画の5年間、若い人には、果敢に挑戦する具体的行動が欲しい。

**商工観光課長** 具体的な行動が起きることを期待し、その時に行政は何ができるか考えたい。

## 地域循環型経済を

伊藤 幸男

**問** 地元消費と循環型経済をめざした地域振興券のピラが他町に折込まれたり、一部の方が大量に購入したとの話もあった。民主的規制があるので、**商工観光課長** 指摘の通り。是正を求めていく。

## 住宅改修助成

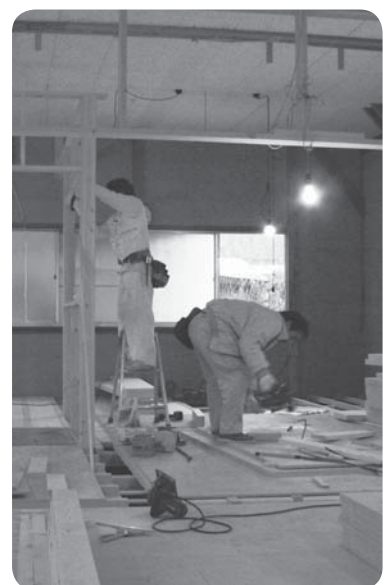
塩見 晋

**問** この事業で住宅改修をすると、固定資産税の評価の変更になるのか。

**税務課長** 増築で建物の面積が増えなければ評価替えはしないので変わるの少数。

## 循環経済の確立は

山添 藤真



**問** 地域内における循環経済の構築を目的とする事業の一つに住宅改修助成事業があるがなぜか。

**建設課長**

住宅の新築及びリフォーム等に対する支援である。町内業者の仕事を促進し、地域内でお金の循環を確立する目的で制度を設けている。

**問** そのお金は本当に地域を循環しているだろうか。

請負業者や助成を受

けた方々の消費行動を把握していなければ、お金が地域内を循環しているとは言いがたいと思うが、**建設課長** 明確には把握しているとは言いがたい。来年度には消費行動の調査をしたいと思う。

**問** 地域内で経済が循環する仕組みを構築するためには、企業間連携体制の確立が必須だと考えるが、**商工観光課長** 商工会とも連携して強化を進めていきたい。





## 蚕の人工飼育どう支援



勢旗 毅

### 金屋茶園をどう開発

**問** 昨秋に若手の方々に組織する団体が旧加悦町の施設を使つての成功が報道されたが、今後どのように評価し支援していくのか。

**商工観光課長** 新しい試みとして取り組まれ、新商品開発の中で支援をしていきたいと考えている。

**問** 茶園の抜根、整地が進められているが。

**農林課長** 2力年で整備し、ハウスの団地で活用。

### 米の無農薬栽培とは

**問** 無農薬栽培で除草が問題と思えるが。

**農林課長** 民間の研究機関と連携し、施肥段階で除草剤を混入した方式も試験している。

## これからの農業振興

有吉 正

**問** 平成22年度より戸別補償制度がスタートした。この制度が農地の集約・耕作放棄地の解消・自給率の向上につながると思う。町としてこれからの農業振興の考えは。

**農林課長** 現在農業法人は3社あり、集落で法人

化に向かって動いている地域もある。今後の農業は、岩屋も含め集落宮農法人化に期待している。

**問** 捕獲有害獣の止めさしに、警察の協力が得れないか。

**副町長** 警察の協力は不可能と思う。



# 地籍調査どう進める

勢旗 毅

**問** 新年度で人件費が計上されたが、今後どのように進める予定か。

**建設課長** 旧桑飼地区で明石が残っており、23年度でなんとか終わりにしたい。

**問** 民間委託も可能になった中で、検討する必要はないか。

**建設課長** まだ、本格的にやれる段階ではない。

## 二ツ岩の裏山の対応は

**問** 与謝二ツ岩の裏山の陥没の対策はどのようになっているのか。

**建設課長** 地主が町外の人で、まずこの所有者と話合つことが必要だ。



二ツ岩裏山陥没地

**農村女性の家の備品は**  
**問** 女性の家の備品は余りにも古いと聞くが。  
**農林課長** 特に希望を聞いたことはないが、整備に努力したい。



農村助成の家

# 協働の仕組みについて

山添 藤真

**問** 住民と行政が互いの役割分担を明確にし、協働で取り組むまちづくりを推進するため、まちづくり基本条例の制定などを検討しているところだが、その内容は。  
**参事兼企画財政課長** 内容の検討などについては町民との対話のなかで決定していきたい。

**問** 行政側が、与謝野町を離れた後も感情的なつながりを持つている出身者などと、良好な関係を維持する努力をする旨の条文も検討してほしい。  
**参事兼企画財政課長** 検討したい。

## 地域協議会の設置を

伊藤 幸男

**問** 集落で支えあい助け合つ自治組織のまちづくり地域協議会が、全国でも各分野でも広がっている。高齢化した本町でも緊急に求められているが。  
**町長** 地域協議会は必要だと思っているが、現在、区もあり難しい課題があると思っている。

# 後期高齢者人間ドック

和田裕之

**問** 命と健康に関わる医療に、年齢での区別と高齢者への負担増を強いる国は日本以外ない。

京都府下26市町村で、後期高齢者人間ドックを実施していないのは、当町を含め3市町村のみだ。自己負担分を除く費用の全額を国の特別調整交付金があり、これを活用し、各市町村は実施している。国の助成制度があるならば、当町でも実施すべきだ。

**保健課長** 調査し、検討する。

## 各種ワクチンの安全性

**問** 12月議会でヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチンの助成をと質問したが、国の支援策で無料となった。

しかし、今年の2月より数件ワクチン同時接種により亡くなられる悲しい事案がある。当町の対応をお聞きしたい。

**保健課長** ワクチン接種との因果関係は明らかではないが、現在、国では接種の一時の見合わせをしており、見守っている。



医療現場の充実を（与謝の海病院）

## 減税が注目されるが

浪江郁雄

**問** 愛知、名古屋で注目されている減税について、考え方を問う。

**町長** 税収が減るなかでのやりくりで、減税より安心安全の施策に取り組む。

**問** 子ども手当はマニフェストにしたがい全額国費とし、地方負担分を計上しない自治体があるが。

**福祉課長** 町負担は約5千7百万円。国の方針にしたがい予算を計上した。

## 税金徴収の改善は

## 町たばこ税増収

家城 功

塩見 晋

**問** 税の徴収方法は、行政の条例により国保税は年10回で、町民税と固定資産税は年4回での形になっている。納付回数を選択制等、納税者の都合も配慮すべきでは。

**問** 町内のたばこ販売から得られる貴重な財源の税で23年度は1億2千5百万円となっているが、昨年の値上げの影響は。

**税務課長** 現時点で、変更の予定はないが、滞納がなくなるための努力は常に心がけている。

**税務課長** 自然減と、値上げの関係で販売本数は減少しているが、課税額が増えているので、若干の増額を見込んでいる。



町財源に影響は

# 一歩前進した施策を

家城 功

**問** 産業振興は町財政の収入面でも大きな要因。

与謝天橋立ICの開通に伴い新たなビジネスチャンスができた。産業振興の考えにも変革が必要。

**商工観光課長** 新たな取り組みも検討し地域の事業者との連携を図りたい。

**問** 地元業者がやる気になれる投げかけをい

くことも大切。  
**商工観光課長** 連携のなか仕掛けをしている。今後、活性化に向け努力する。

**有線テレビは有料**

**問** 有線テレビは有料である。料金をいたたく以上、サービス向上を。

**加悦地域振興課長** より良い改善に努力する。

**全国大会に支援を**

**問** 多くの方が全国大会に出場され活躍をされている。近隣市町では支援金を支給し応援している。当町でも支援を。

**町長** 当町は当町の考えの中で、応援や支援をしている。金銭による支援は現在考えていない。



**予算の重点課題は**

杉上 忠義

**問** 町長としての重要5項目は。

**町長** ①安心・安全で災害に強いまちづくり  
(加悦中等の学校耐震化を含む)

②加悦加工場あとの複合型福祉施設建設。

③リフレッシュの里再開などによる「新たな仕事づくり」

④防災無線によるネットワーク強化。

⑤国民文化祭、大名行列などによる「文化の振興」

## 一般会計賛成討論

将来世代への引継ぎを期待

家城 功

平成23年度の予算については、合併特例期間の後期初年度で重要な予算である。歳入では町税の減少が大半を占め厳しい地域経済状況が推測される。歳出では合併後最大事業の地域情報化事業や早期再開が望まれるリフレッシュの里オープンに向

けた取り組みなど、大変厳しい財政状況下、有意義な予算編成であると感じている。しかし町財政は数年先には赤字転換の危機的見解も予測される。将来を担う世代への有意義な引継ぎを期待し賛成討論とする。

大震災と原発への備え

野村 生八

特別養護施設や加悦中学校の建て替えなど、町の総合計画の実現に向けた予算と評価している。

状況は、予算の編成時と様変わりしている。東日本大震災の被災者の支援、原発事故による安全対策の見直し、防災の見直しなど新たな課題が生

まれている。さらに前進するよう期待している。

# 特別会計予算

## 国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税率の改正

|     |    |         |   |         |         |
|-----|----|---------|---|---------|---------|
| 所得割 | 現行 | 8.0%    | → | 9.7%    | (1.7%増) |
| 資産割 | 現行 | 42.9%   | → | 44.4%   | (1.5%増) |
| 均等割 | 現行 | 34,800円 | → | 35,600円 | (800円増) |
| 平等割 | 現行 | 28,300円 | → | 28,900円 | (600円増) |

この税率は、医療分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の合計数値です。

### 国保税条例

値上げ理解できない

野村生八

**固** 21年度に1億円、23年度も3千万円の繰り入れをして、値上げを抑える努力をしているが、町民の暮らしから考える

と、約10%の値上げは理解できない。さらに繰り入れて、値上げ幅を減らせないか。  
**町長** 今年抑えても来年また上げることになる。一度に上げるわけにはいかない。

賛成13、反対3

### 国保会計反対討論

引き上げ理解できない

野村生八

後期高齢者医療制度への負担が増えたなど国の制度の変更、営業とくらしの破壊による町民所得の減少、国の国保会計への補助金半減など原因は全て国にある。  
それでも10%引き上げは理解できない。

賛成13、反対3

### 消費生活相談等の委託条例

京都府の財政支援がない

伊藤 幸男

**固** この消費者相談は、本来府の仕事。財政的な措置がされていないが。  
**企画財政課長** 今後、財源措置もされると思う。

### 介護保険

## 国はサービス切り捨て

野村生八

**固** 来年からの介護保険計画では、要支援を介護保険から町の支援事業に置き換えるなど、国はさらにサービスを切り捨てる。保険あって介護なしの状況が、さらに進む。

**町長** そうならないように、国や府に要請する。  
**福祉課長** このままでは、保険料が大幅に増える。要支援者は今までどおり、介護保険で行うべきだと思います。



桜見、介護風景

### 町職員の特殊勤務手当改正

手当より負担軽減を

浪江 郁雄

**固** 22年度の出動回数、クマ116回、シカ14回で、主に3人に対応と聞いた。

対応職員を増やし、一人当たりの負担軽減を。

**副町長** 誰でも対応とはいかないが、検討する。

**固** 防具など安全対策は。

**農林課長** 手を噛まれる事故があり革手袋を購入した。

有害鳥獣の処理作業に従事する職員の特種勤務手当の項を追加し、職員が公務のためクマ、シカ、イノシシ、サルなどの小動物の捕獲、保護、死骸を処理する作業に従事したときに、1回につき1000円を支給するもの。

# 一般会計補正予算

## 国のきめ細かな交付金事業で地域活性化対策

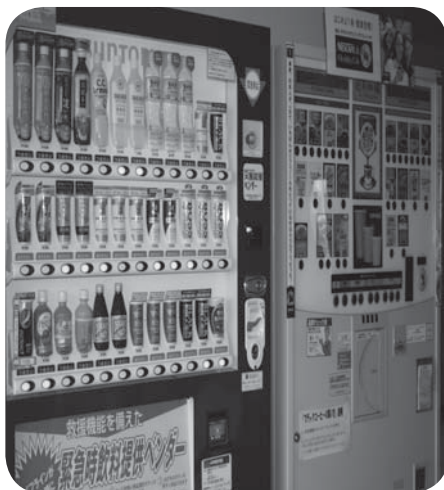
### 5,119万8千円交付される

単位 円

| 事業名             | 事業費             | 光交付金       | 一般財源       |           |
|-----------------|-----------------|------------|------------|-----------|
| 環境にやさしい農業推進事業   | 新たな無農薬栽培の試験     | 1,680,000  | 1,680,000  | 0         |
| 災害時要援護者支援事業     |                 | 4,200,000  | 4,200,000  | 0         |
| 図書整備事業          | 図書購入事業          | 9,860,000  | 9,860,000  | 0         |
|                 | 図書システム改良事業      | 13,812,418 | 13,812,000 | 418       |
| 国民文化祭に向けた施設整備事業 | 野田川体育館トイレ整備事業   | 2,929,500  | 2,929,000  | 500       |
|                 | 中央公民館トイレ整備事業    | 936,390    | 936,000    | 390       |
|                 | 勤労者総合福祉センター整備事業 | 15,779,570 | 10,781,000 | 4,998,570 |
| 地域振興基金事業        | 伐採木等活用研究事業      | 2,000,000  | 2,000,000  | 0         |
|                 | 適応指導教室実施事業      | 5,000,000  | 5,000,000  | 0         |
| 合計              |                 | 56,197,878 | 51,198,000 | 4,999,878 |

これまで、住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野に対する取り組みへの支援のために創設された国の新たな交付金事業。

本町では、国民文化祭に向けた施設整備事業のほか、災害時の要支援者への支援、小・中学校や図書館などの図書整備が実施される。



緊急時のベンダー設置

緊急災害への備えは

谷口忠弘

**問** 自動販売機の飲料水のベンダー事業とは。

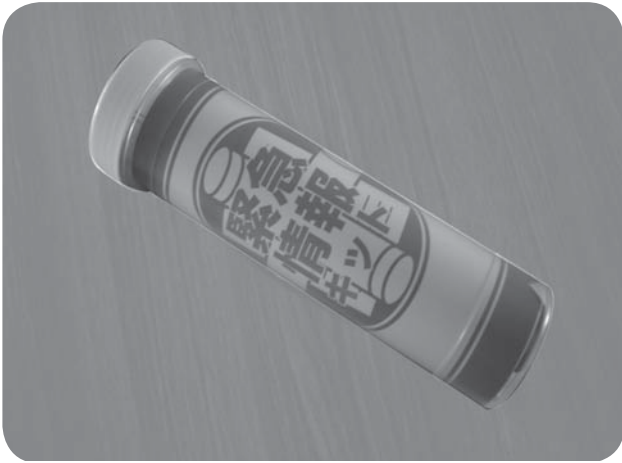
**総務課長** 緊急時に無料で提供できる仕組み。

**問** 緊急物資の在庫は。

**総務課長** 毛布、アルファ米、その他食料品等。

**問** 賞味期限のある在庫商品の処分は。

**総務課長** 各区からの要望を聞いて配布している。



情報キット

情報キット配布拡大を

浪江 郁雄

**問** 65才以上の独居の方が対象だが、持病がある方や障害者にも配布を。  
**福祉課長** 必要数を協議し、補正で対応したい。  
**問** 情報の更新が課題で、通知をする自治体もある。  
**福祉課長** そこが一番重要であり、対応したい。



ウッドボイラーで竹を燃焼

伐採木等研究積立金

多田 正成

**問** 伐採木等活用研究とはどのような研究か。  
**農林課長** 間伐材、竹などエコ燃料化の研究をコンサルタントに委託する。  
**問** すでに木竹などチップやペレットにして商品化されている。当町で使用できるのか。  
**農林課長** 今はできない。施設を整備すれば使用できる。例えばリフシ、クアハウスなど。



厳しい冬

独居世帯の雪下し支援

伊藤 幸男

**問** 大雪のなかで、山間地の独居老人の方が屋根の雪下しを求めているが。  
**町長** まず自分で、地域で取り組んで欲しい。  
**地域協議会が必要**  
**問** 私たちはまちづくり協議会の取り組みが急がれていると提案してきた。行政の指導性が欠かせない。高齢者の雪下しは危険、支援がいると思う。  
**町長** 自助・共助で。

下水道特別会計  
補正予算

浪江 郁雄

訴訟対応の検討を

**問** 昨年11月に下請け業者から提訴されたが。  
**下水道課長** 原告が訴えを取り下げて訴訟は終了。  
**問** 町に非はないが弁護士謝礼25万円。今後同様、もしくは不当訴訟には賠償請求などの対応を。  
**副町長** 顧問弁護士との協定に従い謝金を払った。  
**問** 自治体への訴訟増加の指摘がある。弁護士に丸投げではない対応を。  
**副町長** 現状では困難。

# 一般質問



## Q 限界集落から地域再生へ

### A 国勢調査の詳細な結果を待って、実態調査を



地域の活性は人の動きから

**問** 限界集落とは、高齢化率50%を超え、共同体としての自治を維持することが限界に近づいている集落。綾部市は07年、集落の振興を旨とする「全国水源の里協議会」（172市町村参加）を設立。45世帯113人の新市民が誕生。しかし、府は15年府内の限界集落は628ヶ所に達すると推計する。本町も「限界集落と呼ばせない」とする確固たる施策が求められているが。



杉上忠義

**町長** 具体的にどのよう「集落」を定義するかは、議論が必要。速報値で、本町でも確実に人口が減少している。「限界集落」のような事態とならない施策の推進が必要。

## KTR土日祝200円に

**問** 深刻な状況になっているKTR。京丹後市は、新たな支援策として、65歳以上の市民が土・日曜、祝日に利用する場合、片道が200円での区間でも自由に乘れる。

本町も、今回の社会実験に参画すべきだが。

**町長** 小手先的な対応ではなく、抜本的な策が必要。「府北部の公共交通のあり方を検討する会」で最善の対策を検討していく。





宮津与謝消防署

## Q 火災警報器設置の告知は

### A 防火広報活動などで実施済

**問** 5月31日が設置義務の期限になつていますが当町の設置率は。

**町長** 消防組合のサンプル調査では、設置率は宮津与謝管内全体が56・9%、これに対して当町は49・2%の報告を受けている。設置により被害が軽減された例も多く報告されている。

町としても100%の設置を目指して、普及啓発を行い設置の推進を図っていききたい。



空き家の活用は

## Q 放置できない空き家

### A 個人の財産のため、打つ手は無い

**問** 自然倒壊の危険やゴミの不法投棄、シロアリや害虫の繁殖など衛生上の問題。また、防犯面や景観に悪影響を与えるなど自治体共通の課題であるが、所有者の事情もあり解決が困難な状況。

しかし、積極的に取り組んでいる自治体がある。まずは、実態把握が必要。建築基準法による改善指導より、空き家に特化した条例を制定し指導強化



浪江郁雄

を図る自治体がある。空き家適正管理条例の制定が必要と考えるが。

空き家バンク事業や国の交付金による有効活用は。経済的な理由で危険廃家の撤去が困難な方に、助成制度が創設できないか。また、土地の寄贈を条件にした公的解体後の公的利用などはないか。



宮崎有平

### 消防団の支援隊は

**問** 昨年の6月議会でも支援隊の必要性を問うたが、どのような体制で発足するのか。

**町長** 消防団だけでは対応できない地域や分団については、消防団OBの力を借りて「消防団支援隊」を創設する必要があり、消防団支援隊設置要綱を制定し平成23年4月からスタートしたい。

### 町長

昨年の町政懇談会でも話題に上がったが、町独自の実態調査は考えていない。

空き家条例を制定するより、強制撤去ができる強い権限を持つ京都府と連携し対処する。

空き家バンク事業などの有効活用の計画はない。

撤去の支援や、公的解体後の公的利用は考えていない。

### サイレンが鳴らない

**問** 1月に起きた火災で本庁のサイレンが鳴っていないがその原因は。また、改善はされたのか。

**町長** 火災時に鳴らなかつた原因は、モーターサイレン機器の凍結防止ヒーター装置に不具合があったが、現在は改善した。町民の皆様には不安を与えたことをおわびする。

## Q 合併6年財政効果を問う

**A** 約10億円の削減



どう考える施設統合

**問** 合併して6年目を迎えた。合併前と合併後を比較し財政効果はどの様に出せているのか。

**町長** 旧3町を併せた平成16年の決算額は約116億円、合併後の平成18年が約106億円、平成20年は約100億円と約10億円の削減ができています。理由は各種事業の一本化、議員、職員の削減が効果となっている。



多田正成

**問** 削減の努力は承知をしている。人件費の削減は当然だが、庁舎を含め少子化から考える幼保小中学校の適正規模、適正配置、高齢化から考える福祉、医療の問題、町所有の各施設、物件の統廃合など一番の恒久的削減効果の出せる課題に取り組めていないが。

**町長** 今後の目標達成には庁舎を含む施設の統廃合など、大変大きな課題を進める必要がある。平成27年には合併特別債の優遇措置も切れ、更に厳しくなる。基本的なまちづくり編成が6年目を迎えた。今、具体的に町民に示され真の議論を進めるべきではないか。

**町長** 毎年町政懇談会を続けている。そのいった件、テーマを絞り懇談会で町民に投げかけていく。

## Q 人口、税収は町の基盤

**A** 増やす環境整備を図っていききたい



今後の空き家対策

**問** 国勢調査で町の人口が減少し、また自主財源の柱である税収も落ちている。これで町の活力が維持できるのか。

**町長** 人口、税収の数値は、活力のバロメーターの一つと考えている。またそこに住む人のマンパワーも重要と思っている。

**問** 税金を使い各種事業を実施しているが、結果的にはそれらは、人口や税収を増やすことを目的として



谷口忠弘

いる。止まらない人口減少と、地域経済の沈滞に、歯止めをかける必要がある。人口と税収には、もっと注視すべきと思うが。

**参事兼企画財政課長** 税金の落ち込みの分析をし、適切な施策を予算に反映させるようにしている。

**問** 総合計画の予測値と既に僅か5年で505人も減少誤差があるが。

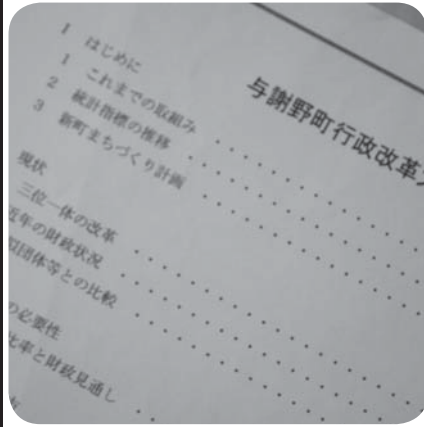
**参事兼企画財政課長** 後期計画の中で修正したい。

**問** 人口を増やす施策はいろいろあるが、団塊世代の田舎暮らしの支援に空き家を利用しては。綾部市では町家を譲り受け改修をし、安価な家賃で入居者を募集する事業を始めたが。

**町長** 当町は違った形で取り組んでいる。空き家は民間活力に期待したい。

## Q 行政改革は協働が大切

### A 住民理解と協力が不可欠



明日への行政改革

#### 問

この自治体でも、どれだけ職員削減をするか、経費削減するかを議論されているが、今、「国の方財政審議会」でも、行政改革の流れが変わってきており、「集中改革プラン」は終わると聞いている。行政改革を進めていくと、住民に負担が増加、サービスが低下するなど、痛みが伴うなども考えられる。

本来の行政改革は、住民の立場に立



和田裕之

つたものでなければならず、行政改革を進める上で、相互理解や協力が不可欠で、徹底した情報公開と住民参画を進めて、住民と行政の「協働」が必要ではないか。

#### 町長

行政改革は、まず行政内部で努力し、住民のご理解を得ながら、住民と行政が協力して進め

るのが重要で、住民の理解と協力を願っていたい。

#### 保育所・学校の防犯防災

#### 問

安心安全の町と言つ意味で、防犯・防災は非常に重要だ。

子供たちを守るために更なる改善を願いたい。

#### 町長

防災に関する訓練指導は実施している。防犯に関しては、護身具などの改善を検討する。

## Q 都市計画の推進状況は

### A 都市計画法改正の動向を見ながら対応したい



土地利用（野田川バイパス）

#### 問

都市計画指定については、昨年の3月議会において、「町の均衡ある発展を実現するためには、土地利用に関する一定のルールづくりが必要であるため、準都市計画制度を利用するとの結論に達した」との考えが示された。その後の検討内容、進展状況を示されたい。



糸井満雄

#### 町長

岩滝地区以外は、準都市計画制度を利用することが、現時点でベターであるとの結論から、京都府と協議したが、国において都市計画法の抜本改正が議論されている最中であり、改正動向を見ながら対応したい。また、住民の理解を得るための広報活動はできていない。

#### 町営住宅の建て替えは

#### 問

住宅政策における野田川地区、加悦地区の町営住宅の計画的な建て替えは、財政面、防災面などを含め重要な課題であるので、マスタープランの策定を行い、早急に取り組み必要があるのでは。

#### 町長

住宅マスタープランを検討中であり、10年後の目標管理戸数を315戸に設定し、今後の町営住宅の建て替え、団地の集約、既存団地の維持管理方針を検討している。

## Q サービス会社で雇用拡大を

**A** 検討や研究をする必要がある



女性の働く場

**問** 雇用の場の拡大策として、町の仕事を外部に会社をつくり委託している先進地がある。今後の財政状況を考えると、女性中高年を中心に雇用の拡大を図る必要がある。

**町長** 公共サービスにおける行政の役割や範囲の見直しと見極め、町内の事業所の民業圧迫にならないようにも考えながら、検討や研究は必要だ。

**町独自のNPO制度は**

**問** 町の計画書では、協働で行う町づくりにNPOが担うべき役割が記されている。この力を発揮させるには町独自のNPO制度を創る必要がある。これは5人あれば認めるような内容で、大きな成果をあげている町がある。

**副町長** 臨時職も町づくりにとって欠かすことのない重要な存在だ。今後労働環境の改善に努めたい。



勢 籾 毅

**町長** この制度での要望はないが、住民団体等の自発性、自立性に基づく多様な活動ができればよい研究していきたい。

**臨時職が働きやすい職場を**

**問** 臨時職のウエイトが年々高くなっているが、一般職と余りにも格差がありすぎないか。

**副町長** 臨時職も町づくりにとって欠かすことのない重要な存在だ。今後労働環境の改善に努めたい。

## Q 指定管理者制度をどう思うか

**A** 本町では一定の役割を果たしている



指定管理の施設 (クアハウス)

**問** 80年代から始まった「民間活力」論が行き過ぎた結果、市町村のあるべき姿勢を歪めている。国の強制的とも言える指定管理者制度の導入により全国各地で、職員の待遇が悪化し、住民サービスの低下や死亡事故まで引き起こされている。一般論だが、指定管理者制度について問う。①現時点でどう評価しているか。②近く制定され

る「公契約法」の点から、今の指定管理の施設職員の身分保障は。③全国では福祉や教育分野の施設まで導入している。個人情報保護法等の確保は。④明確な「施設」の場合、指定期間の限定は必要なのではないか。⑤指定管理者制度は廃止すべきではないか。



伊 藤 幸 男

**町長** 本町では①一定の民間ノウハウを活かし運営がされている。②低賃金はない。③管理者に義務付けしている。④今後、検討していく。⑤単なる経費削減のための制度ではなく、多様化した住民要求に応えるための制度で、町の自主性に任せるなど見直しがされた。

**教育長** ③指定管理者との協定書で守られている。図書館等の導入は疑問。

## Q 一人ひとりを包摂する社会に向けて

**A** 更に支え合う町づくりを追求していきたい



人の交流

**問** 当町でも、家族や地域社会などのお互いが支え合う機能が失われた結果、孤立化というリスクを抱えながら生きる人々が少なからずあり、孤立化を防ぐための施策を講ずる必要があると思うが。

**町長** 高齢者の一人暮らしが進行するなど、孤立化の現状は進行していると考えており、さらに長引く地域経済の低迷は、生活保護世帯



山添藤真

の増加や自殺者の数に表れ、大変厳しい町の状況を映し出していると考えている。ボランティアや町民の皆様と支え合う町づくりを更に追求していきたいと考えている。

### 地域活性化策を問う

**問** 都会で暮らす与謝野町出身者の人々とのつながりを大切にしたい

いくことは、今後のまちづくりを考えていくうえで大切なことと思うが。

**町長** 東京丹後人会総会に出席するなどしてつながりの維持に努力している。

**問** 丹後地方の近隣市町村と連携し、東京・大阪丹後人会との関係強化を図ってみては。

**町長** いまのよう考えていない。

## Q 一歩進んだ見直しを

**A** より良い改善に向け検討していく



大雪の冬

**問** 今年の大雪は様々な分野で、新たな経験があり、今後の除雪対策に活かすべき課題も多く感じた。今後につながる対策をきっちり整理し備える必要があると考えている。

- ① 出動基準の見直しを。
- ② 国や府との連携強化を。
- ③ 地域や町民との連携を。
- ④ 行政としての役割を。

### 町長

町の除雪については毎年除雪計画を区長会において各



家城 功

区長に説明をし、意見や要望を聞き、それをもとに協議し検討をした上で、修正をして実施にあたっている。国や府との連絡体制はもちろん、各地区や町民との連携も強化し、可能な限り改善をし、対応したい。

町民の方におかれても、自助の分野での理解と協力をお願いしたい。

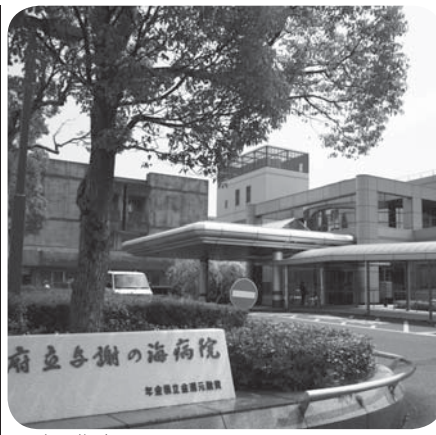
### 災害対策は

**問** 地震や台風、大雨による災害は、最悪の状態も想定した対策を更に構築する必要がある。我々町民も普段から危機感を持つことも大切であるが、行政としてやるべきことをしっかり行っていくべき。

**町長** 災害時における対応は行政にとって非常に重要である。再確認再検討も含め、近隣市町や府等の広域でも連携に向け検討していく。

## Q 丹後地域医療再生計画

### A 救命救急センターの設置を要請



医療の拠点

**問** 京都府は、丹後地域医療再生計画をつくり、ようやく北部に救命救急体制がないことを認めた。府議会でも、地域救命救急センターを設置する方向で検討している。与謝の海病院に設置するよう、一層の要請を。

**町長** 京都府は、与謝の海病院に救急専門医を配置するなど、

医療の充実に取り組む。救命救急センターは、大切な施設であり、設置に向けさらに要請する。

### 救急搬送の見直し

**問** 救命救急は、一刻を争う搬送が必要。消防法の改正で、直ちに処置できる病院に直接搬送できるよう

になった。直ちに改善をすべきだ。

**町長** 救急搬送は、今までどおり、与謝の海病院に搬送することにかわりはない。しかし、現状を把握し検討したい。



野村生八

## Q どんどんする高齢化社会

### A 新しいサービスの開発を目指す



**問** 地域共生型による福祉施設整備が進んでいる。

特別養護老人ホーム、在宅複合型施設、障害者就労支援施設が予定されているが整備計画は。

**町長** 今年の10月着工。開設は来年の8月。

**問** 現在施設入所待機者は1800人ある。緩和はどのくらいできるのか。

**町長** 定員は60人なので3分の1解消できる。一時的に待機



今田博文

者は減少するが、数年後には現在と同じ状況になる。

### 介護保険料はどつなる

**問** サービスが充実すると保険料が上がる仕組になっている、どの位になるのか。

**町長** 現在より月額500円程度あがる。

### 福祉の充実

**問** 高齢化社会はさらに進む。今後の福祉施策のあり方は。

**町長** これまでの方針を転換し、大型施設の整備を進めている。高齢者世帯が年々増加する中で今は、負担感の少ない、きめ細やかなサービスを推進する。

### 椿サミット開催決まる

**問** 与謝野大会開催に向けて誘致すべきだ。

**町長** 来年、山口県萩市の大会において、平成27年春の開催誘致を表明する。

## Q 有害獣捕獲の特例申請

**A** 特区認定を受けた市も実施を見合わせている



有害駆除檻

**問** 「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律9条」で、知事の許可を受けなければならないとある。猟友会の方々には敬意と感謝をしているが、農家自らも捕獲して農作物を守る環境作りを。

**町長** 長野県伊那市では特区申請が認められたが、狩猟免許を取らなくなる、止めさしの問題、知識が必要などの理由で実施を見合わせている。



有吉 正

ている。当町でも農家が見回りするなど、猟友会との協力体制がきている地域もある。

**問** 今議会に提案されるのかと期待していた。

### 産業振興条例

**町長**

23年度内には作る予定。産業振興会議で議論していく。補助金内での貸付要綱が先にできないか。

**町長**

早くできるよう努める。

### 岩屋西部辺地の計画策定

**問**

町道大門線、雲岩公園周辺整備、農道、水路など新たな計画策定に入れないか。

**町長**

町道岩屋川線が完成してから、新たな計画策定に入る。

## Q 府道2号岩屋峠改良促進

**A** 要望活動を一層強めていきたい



いつ進むのか岩屋峠

**問** 長年要望を続けても一向に進展が見えない。

3月に宮津与謝道路が開通し、変化していく交通の流れに対応していくためにも、丹後と但馬を結ぶ主要道路である岩屋峠の改良が急務である。

昨年11月町長を先頭に、沿線市町の官民総勢21人で、府庁に副知事を訪ね、早期改良の要望をしたがその後は。

**町長**

町道岩屋川線が府道に接続した付近の、交差点改良の



塩見 晋

設計を実施し、登坂車線の設置などの設計見直しをすると聞いているが、事業が進捗している状況ではない。

**問** 岩屋峠促進協議会は、行政組織の異なる、他府県の委員で組織しているの、府県境の相互の地域の交流と理解が必要であると思うが。

行政の協力、地域相互の意思の疎通や交流を図ることが重要である。

**町長**

行政の協力、地域相互の意思の疎通や交流を図ることが重要である。

### 地上デジタル放送移行

**問**

7月24日で、テレビのアナログ放送は停波し、デジタル放送になる。

有線放送に未加入の、高齢者世帯などの対応は。

**町長**

国の取り組みに協力し、地デジ難民が出ないように努めている。

### 企画財政課主幹

福祉課と連携し、対応している。

## 総務常任委員会

総務常任委員会は、企画財政課、税務課、総務課、地域振興課、会計室に係る事務を所管しています。12月議会が終了してから4回の委員会を開催。

- 町営バスの運行状況
- 有線テレビに関わる条例改正、契約変更
- 暴力団排除条例、職員の飲酒運転に関わる処分の方、国勢調査
- 岩滝大名列
- 京都地方税機構の現状
- 地域活性化交付金、地方交付税の見直し
- 補正予算、新年度予算等についての内容を深める質疑を行いました。
- 京都弁護士会から要請され、全国的な運動になっている「取調べの可視化について（取調べ全過程の録画）」の勉強会を



行い宮津に駐在の澤田弁護士から裁判員制度との関わり、なお現在も後を断たないえん罪防止のためにも可視化の必要性を学び、議論を重ねた後、3月議会に総務常任委員会として、意見書を提出、本町議会として可決し国に意見書として出した。

## 文教・厚生常任委員会

### 【教育委員会】

- 1 加悦中学校改築工事
- 2 町内小中学校の環境整備（町内小中学校視察）
- 3 要・準要保護児童、生徒の援助事業

### 【福祉課】

- 1 保育所、幼稚園の実態調査（町内施設視察）
- 2 地域共生型福祉施設建設
- 3 地域福祉空間整備事業

### 【住民環境課】

- 1 広域（2市2町）によるごみ処理計画
- 2 最終処分場の状況

### 【保健課】

- 1 国保税の上げ幅
- 2 国保診療所（石川）の運営

以上の課題を主として委員会活動をしています。



# 委員会



# 活動報告

## 産業・建設常任委員会

昨年の12月6日と、本年2月14日の2回に分けて、町内の企業訪問をしました。

目的は、地域経済力のアップにつながる活動が、行政と共に出来ればという観点から、会社を訪問し、現状を研修しながら、日頃より感じてもらえることや、行政に期待していることなどについて、広く意見交換を行うことです。

訪問先の企業については、町が抱えている課題や、職種別、地域別、雇用人数、また、町長が企



業訪問されていない所などを考慮しました。

対応して頂いた関係者の皆様には忙しいなか大変に有り難うございました。

訪問先企業（敬称略）

●丹後海陸交通株式会社

●株式会社

大栄製作所 加悦工場

●有限会社 誠武農園

●有限会社

山政テキスタイル

●株式会社 やまいち

## 議会活性化特別委員会

平成22年10月より10回の委員会開催、及び3市町へ視察研修を行いました。

●視察研修

兵庫県多可町

（一問一答方式の導入・反問権の付与等を実施）

久御山町

（議員定数の減・休日議会の開催・議会報告会等を実施）

木津川市

（議員間の自由討議・政治倫理条例の策定・議会基本条例の策定を実施）

※今後は精力的な議論を

先進地視察などで研鑽を

積み、議会の活性化に向けて、今年度にはまとめ

たいと考えている。



④2000人に発送し839人（42%）から回答があった。  
●平成23年2月28日全員協議会にてアンケート集約結果報告。  
●平成23年3月1日新聞社へプレス発表。

# 組合議会などの活動方向

## 京都地方税機構議会

滞納26% 72億円徴収

2月19日(土)、京都府と25市町村(京都市除く)の滞納税徴収を担う「税機構定例会」が府庁旧館で開催された。

業務を始めた昨年1月からの1年間で、構成自治体から27.2億5千万円が移管され、うち26.5%の72億2千万円が

徴収された。(債権差し押さえは2549件20億8千万円)

与謝野町分は4億7023万円が移管され、20.4%の1億253万円が徴収された。

23年度の運営負担金は、1825万円を計上。

## 京都府後期高齢者医療広域連合議会

高齢者が安心できる医療制度へ

日時 2月10日

場所 京都市内

本会議は平成22年度一般会計、特別会計補正予算は全員賛成で可決。

平成23年度一般会計と特別会計予算は賛成22反対4で可決。

また、後期高齢者医療制度の見直し案を撤回

し、同制度を直ちに廃止することを求める意見書は賛成4反対22で否決。

請願第一号の高齢者が安心して託せる医療制度の確立と、国民健康保険への国庫補助の増額を求める請願書は、賛成4反対22で不採択。

## 丹後地区広域市町村圏事務組合

法改正により3月末日解散

平成3年に発足した同組合の最後の議会が2月23日、京丹後市の議場で開催された。

解散後は丹後2市2町の首長会を定期的開催し広域的課題等について協議する。また必要に応じて府広域振興局もオブ

ザーバーとして参加願う。

●開催は年4回程度。

●場所は各市町持ち回り。

●事務局は当分の間京丹後市が担当。

●会計は持たず施設使用等必要経費は担当市町など今後の対応について報告された。



安心の地域医療(石川診療所)



## 北近畿タンゴ鉄道経営支援並びに存続に関する意見書

北近畿タンゴ鉄道は、京都縦貫自動車道と並んで京阪神方面への交通アクセスの基幹的公共交通インフラであるとともに、地域住民の生活や通学、通勤、通院など高齢者をはじめとする交通弱者には必要不可欠なものである。さらに、観光振興や産業振興などの地域発展の重要な要素にもなっており、鉄道の存続にかかる努力を続けているが、近年の過疎化や少子化の現状に加え、マイカーやバスなどと競合し厳しい経営を余儀なくされている。

したがって、国並びに京都府において、地域住民の切なる願いを真摯に受け止め、地方における

鉄道による交通手段の重要性を強く意識し、京都府北部が交通過疎、陸の孤島とならないよう最大の経営支援・対策を図られるように強く要望する。

全員賛成



## 意見書

## 速やかに取り調べの可視化(取調べの全過程の録画)の実現を求める意見書

取調べの可視化の主たる目的は、密室での取調べに伴い発生するえん罪を防止することにある。

取り調べを全て録画することにより、捜査官の暴行、脅迫、利益誘導による自白の強要や虚偽自白と共に、現在も後を断たないえん罪を防止し、被疑者及び被告人の人権保障が図られうると考えられるし、裁判における供述調書の任意性や信用性の判断を容易に、かつ正確になし得るようになることと考える。

よって国に対し、録画による刑事事件の取調べの全過程の可視化を実現するよう強く要望する。

賛成 11、反対 5

## 勢旗毅氏

## 与謝野町自治功労者表彰

与謝野町表彰条例 第4条第4項にもとづき、12年以上議会議員在職しその功労が著しいと認められた勢旗毅氏が自治功労者として、議場に於いて太田町長より表彰されました。



# 議会の動き

(平成 23 年 2 月～平成 23 年 3 月)

| 月                     | 日                        | 内 容                                  |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------------------|
| 2月                    | 1日                       | 丹後地区広域市町村圏事務組合<br>例月出納検査             |
|                       | 2日                       | 宮津与謝消防組合議会・全員協<br>議会                 |
|                       | 3日                       | 平成 22 年度宮津市・与謝郡市<br>町議会 議長会          |
|                       | 4日                       | 第 8 回議会活性化特別委員会                      |
|                       |                          | 与謝野町岩滝大名行列準備委員<br>会の設立及び第 1 回委員会     |
|                       | 10日                      | 京都府後期高齢者医療広域連合<br>議会 平成 23 年第 1 回定例会 |
|                       | 14日                      | 産業・建設常任委員会 町内会<br>社訪問                |
|                       | 15日                      | 第 9 回議会活性化特別委員会                      |
|                       | 16日                      | 文教・厚生常任委員会                           |
|                       | 18日                      | 新人議員研修                               |
|                       | 19日                      | 京都地方税機構議会 定例会                        |
|                       | 21日                      | 京丹後市議会 研修会                           |
|                       |                          | 議会運営委員会                              |
|                       | 22日                      | 府町村議会議長会 定期総会                        |
|                       | 23日                      | 総務常任委員会                              |
|                       |                          | 丹後地区広域市町村圏事務組合<br>2 月定例会             |
| 府・市町村議会正副議長 合同<br>研修会 |                          |                                      |
| 24日                   | 宮津与謝消防組合議会 定例会           |                                      |
| 25日                   | 第 10 回議会活性化特別委員会         |                                      |
|                       | 大名行列実行委員会 総会             |                                      |
| 27日                   | 丹後環境シンポジウム               |                                      |
| 28日                   | 3 月定例会（招集・提案・一部<br>議案審議） |                                      |

|    |     |                               |
|----|-----|-------------------------------|
| 3月 | 1日  | 加悦谷高等学校卒業式                    |
|    |     | 2市2町議長会議                      |
|    | 2日  | 与謝野町宮津市中学校組合議会                |
|    |     | 文教・厚生常任委員会<br>産業・建設常任委員会      |
|    | 3日  | 総務常任委員会                       |
|    |     | 文教・厚生常任委員会<br>産業・建設常任委員会      |
|    | 4日  | 総務常任委員会                       |
|    |     | 文教・厚生常任委員会<br>産業・建設常任委員会      |
|    | 9日  | 3 月定例会（一般質問）                  |
|    | 10日 | 3 月定例会（一般質問）                  |
|    | 11日 | 3 月定例会（一般質問）                  |
|    |     | 議会運営委員会<br>広報特別委員会            |
|    | 12日 | 地域高規格道路鳥取宮津自動車<br>道宮津与謝道路 開通式 |
|    | 14日 | 3 月定例会（条例等・補正予算<br>審議）        |
|    |     | 議会運営委員会                       |
|    |     | 総務常任委員会                       |
|    | 15日 | 中学校卒業式                        |
|    | 16日 | 3 月定例会（条例等・補正予算<br>審議）        |
|    | 20日 | 東日本震災街頭募金                     |
|    | 22日 | 3 月定例会（条例等・補正予算<br>審議）        |
|    | 23日 | 小学校卒業式                        |
|    | 24日 | 3 月定例会（当初予算審議）                |
|    |     | 総務常任委員会<br>議会運営委員会            |
|    | 25日 | 3 月定例会（当初予算審議）                |
|    | 28日 | 3 月定例会（当初予算審議）                |
|    |     | 議会運営委員会                       |
|    | 29日 | 3 月定例会（当初予算審議）                |
|    | 31日 | 出向辞令交付                        |



与謝野町

議会だより 第20号

発行：与謝野町議会 編集：与謝野町議会広報特別委員会  
住所：〒929-2198 京都府与謝野町与謝野町字加説(加説庁舎3階)

TEL: (0772) 43-0215 FAX: (0772) 43-1555  
URL: http://www.town-yosano.jp/ E-mail: sikai@town.yosano.lg.jp

まちの宝  
子どもページ

## 市場小学校の紹介

市場小学校では、児童数194名で今年度スタートしました。学校教育目標を「豊かな心を持ち 確かな学力を身に付けた 心身ともに健全な児童の育成」と掲げ、「人と人が豊かにつながり やさしさあふれる学校」になるよう教育活動を進めています。

本校は、昨年度までの2年間、道徳教育の研究(文部科学省指定)を進め、言葉を通して心をつなぎ、やさしい心を育ててきました。異年齢の取組も活発で、上級生が下級生に優しく教えるほほえましい場面も多く見られます。また、市場地区では、地域総がかりで子ども達を見守り、子ども達の心と体を豊かに育てるための様々な取組を進めていただいております、大変ありがたいと思っています。

一方、子ども達は、スポーツ面でも力を発揮し、昨年度は「天橋立小学生駅伝」で総合優勝、与謝野町陸上記録会でも、素晴らしい成績を納めました。運動会での鼓笛演奏や団体演技は、とても迫力があって見応えがあります。楽しみにしてください。



鼓笛演奏(5・6年生)



6年生と一緒に掃除(1年生)



ふれあい教室(2年生)



田植え(5年生)

いろいろな思いで  
ご祈願されますので  
1体ずつ丁寧に  
手作りの製品をお  
納めさせていただきます  
いています。加工  
している物が特殊



平成2年11月に旧野田川町の企業誘致としてお世話になり、はや21年が経ちました。当時は15名ぐらゐのスタートでしたが、おかげさまで現在3工場になり、与謝野町在住の方中心に105名の方々に来ていただいております。  
当社は京都の伝統産業である織物を中心とした授与品の製造販売をさせて頂いております。平成9年の地球温暖化防止京都会議を契機に環境保護を重視した塩素を出さない素材で製品作りに取り組んでいます。

な製品ですので、工場内を見学していただけないのが残念です。また町内の各作業所の方々にもお世話になっております。少しでも地域に貢献できますよう従業員一同頑張りますのでよろしくお願致します。

ちょっと  
ひとこと



京都奉製株式会社  
野田川支社  
取締役工場長 森本精一

笑顔の職場を目指して

お知らせ

6月定例会の予定

招集日 6月 1日(水)  
一般質問 6月 8日(水)  
6月 9日(木)  
6月10日(金)